

令和7年度 中学生の「税についての作文」

柏税務署管内納税貯蓄組合連合会 ・ 柏税務署

千葉県柏県税事務所長賞

ふるさと納税を通して



柏市立柏第四中学校 第3学年 湯浅 果歩

私は今年初めて「柏」のふるさと納税の返礼品であるマドレーヌを食べたのだが、とても上品でおいしかった。この商品を作っている法人は障がい者の働く場所を提供し、柏産を含む国産の材料を使用している。返礼品を食べた方は、おいしいのできつと喜ぶと思う。

ふるさと納税はよくCMで見かけ、私の家でも少し前からし始めていたが、私自身はどのようなものか理解していなかったので調べてみた。

ふるさと納税は、都道府県や市区町村など好きな自治体を国民が選んで寄付できる制度で、税収が過疎などによって減少していた地域と都市部との地域間格差を改善するために作られた。また、寄付額のうち、二千百円を越える部分を所得税と住民税から控除される仕組みになっている。私の税金のイメージでは、受動的に徴収されるものと思っていたけど、ふるさと納税は能動的に自らの意思を表せて、収められるものだなと感じた。自分の意思表示となると、責任を伴うので、よく考えて税を収めることが重要だと思った。

その中で、我が家では、話し合って決めることが多い。例えば災害に遭った地域について話し合う。同じ中学生が大変な思いをしていると思うと、想像が及ばないくら

いつらい。なので、微力ながらも応援しようと、熊本県や石川県に寄付をした。熊本県からは牛肉やいちご、石川県からは漆の汁碗やお箸を受けとった。また、東北地方を応援しようと寄付し、伝統工芸品の南部鉄器を受け取った。

ふるさと納税の良い所は寄付したい地域を選べ、寄付の利用目的が選べることだと思う。なぜなら、自分の寄付が何に使われるかわからないままではいるよりも自分が選べる方が安心できるからだ。その地域の他の取り組みでいることも知れる点も良い所だ。その上で、税金が控除されたり、返礼品を受け取れることも魅力的だと思う。

しかし、所得税と住民税から控除されるので、自分の住む地域の税金の収入が減る恐れがある。そうになると、暮らしに結びついた公共サービスの充実度が減り、生活が不自由になってしまうのではないだろうか。例えば、道路や公園が整備されなくなってしまうと、事故が増えたり、治安が悪化しやすくなるなど、問題の発生が懸念される。過疎化が進んでいる地域では税収が足りず、様々な問題に悩まされていると聞く。

だから、自分の住む地域も、応援したい地域も助けるには、バランスよく寄付を行うことが大事だと思う。ふるさと納税は税金の大切さを再認識できる一つの手段だと考える。ふるさと納税を通して、ニュースや新聞をきっかけに家族で税や日本の地域について話し、考え、地域同士で互いに応援し合いたくさんの地域が活性化するといいと思う。税金によって支えられる生活に感謝し続け、様々な地域を応援していきたい。